



かがやき

西橋北小学校
学校だより
No.29
平成 23 年 12 月 9 日

茲善橋市場での買い物体験学習

(文責:後藤 達人)

11 月 17 日(木)には、3 年生の校外学習を引率する機会があり、東橋北小学校の子どもたちと一緒に茲善橋市場に出かけました。三滝川に架かる茲善橋を越えると、そこはもう市場です。

最初に、今日の学習のめあてや課題、そして注意事項等を担任の先生と確認しました。その後、グループ別に、市場での買い物と聞き取り学習が始まりました。



店の人と



お客さんと

子どもたちは、家から頼まれた品物を上手に買っていきます。中には、自分の残っているお金を示し、お店の人と値段の交渉をしている子もいました。さすが現代っ子ですね。しっかりしています。

体験学習の終了時刻になると、どのグループも決められた



場所に集合してきました。みんな約束や決まりを守り、とても素晴らしい態度で学習ができたと思います。東橋北小学校の子どもたちは、老松橋から、西橋北小学校の子どもたちは、茲善橋から学校に戻ってきました。みんな買い物袋を大切に持ちながら、満足そうな笑みを浮かべていました。やはり、人とふれあい、人から学ぶことが、豊かな感性を育みます。

西橋北小学校の自然 ~ジグモ(続編)~

第 17 号でお知らせした校舎北側のジグモの巣が、何と改築されていました。以前使われていた巣が、そのまま残り、その脇に見事に新築されています。今回も、またまたでかいです。



この場所は、北側で、虫の数も少ないのです。しかし、ここの住人は、ひたすらダンゴ虫を捕食して、一人ぼっちで、たくましく生きています。いつ見ても、ダンゴ虫の殻ばかりで、他の虫の残骸は見当たりません。すでに、左の写真のように、新しい巣にも、ダンゴ虫の殻が見られました。

この愛すべき「ジグモくん」(雌雄が不明ですが)の今後の生き方にも、たいへん興味がわきます。大切に見守っていきたいと思います。

むすび座「天人松の兄ちゃん」

11月21日(月)には、観劇が催されました。東橋北小学校のみなさんにもお越しいただき、体育館でむすび座の人形劇を鑑賞しました。2年前にも、むすび座さんによる人形劇「十五夜お月さまないたサ」を鑑賞したそうで、なじみのある人形劇団のようです。



昔の話を回顧し、再現するという進め方で、村を守るために、村人みんなで力を出し合い、協力して解決しようとするお話でした。最後には、天人松の化身に助けられるという設定でした。

子どもたちは、すぐに話の世界に引き込まれ、楽しく、また、緊迫した場面では、身を乗り出すようにして鑑賞することができました。劇団のみなさんとのかかわりも持つことができ、とても有意義な時間を過ごすことができたと思います。また、お忙しい中、お越しい

ただいた保護者の方々にも、感謝申し上げます。「子どもたちに、豊かな感性を！」を合言葉に、今後もさまざまな直接体験活動を通し、人から学ぶ機会としていきたいと思っています。

マラソン大会

11月30日(水) 於:三滝公園

天候に恵まれ、すばらしすぎるほどの晴天で、走り手にとっては、少し暑かったと思います。早い段階での週間天気予報では、あまり芳しくない予報でしたが、日が近づくにつれ、どんどん良くなってきました。おかげさまで、予定通りに、マラソン大会を実施することができ、たいへんうれしく思います。



子どもたちも、この日のために、体育の時間を中心に練習を重ねてきました。各学年とも、目標の持たせ方にも工夫をし、一人一人が、意欲を持って持久走に取り組むことができるよう指導してきました。

学年別に、三滝公園内のコースで、自分のペースをつかみながら、一生懸命走る姿は、見ている人にも感動を与えます。みんなとてもがんばりました。

また、たくさんの保護者や家族の方々の応援や声援を受けることで、より力強く走りぬくことができたと思います。走り終えた後、家族に笑顔を振りまきながら、自分の走りを振り返っている子もいて、とてもさわやかな感じになり、心も温かくなりました。

現地での応援に対して、感謝申し上げます。ありがとうございました。



最後に、このマラソン大会で、心温まる出来事に出会いましたので、お知らせいたします。ホームページでも記載しましたが、みんなよりずっと遅れて走る仲間に、すでにゴールした2人の子が伴走を始めたのです。何という仲間思いの行動でしょう。初めての出来事で、とてもうれしく思うと同時に、たいへん感動しました。素敵な子どもたち、万歳！